

各位

NPO法人 久留米市介護福祉サービス事業者協議会 事務局

～研修会「重症心身障害児・者とともに生きる 2025」のご案内～

久留米市介護福祉サービス事業者協議会では、久留米市からの委託により重症心身障害児者の地域支援体制の強化を目的として、重症心身障害児・者地域生活支援事業に取り組んでいます。

専門職向け研修会を下記のテーマにて実施いたします。多くの方のご参加をお待ちしております。

★研修 「医療的ケア児及び重心児の「生活の中の医療」を支える看護職の役割」

※当日は講義とグループワークを予定しています。詳しい内容につきましては、裏面をご覧ください。

★講師 : 久留米大学医学部看護学科 在宅看護学講師 渡邊 理恵氏 他
(看護師・臨床心理士・医療的ケア児コーディネーター)

★日時 : 令和7年12月18日(木) 19:00～20:30

★会場 : えーるピア久留米210・211研修室(久留米市諏訪野町1830-6)

★対象 : 看護師等、各種専門職として従事する方

★定員 : 40名程度(先着順)

★参加費 : 無料

★申込方法 : 下記 URL もしくは QR コードより申込ください。

URL <https://forms.gle/GZS1V82FtRHqbeyb9>

QR コード



【お問合せ】

特定非営利活動法人久留米市介護福祉サービス事業者協議会 事務局

TEL(0942)34-7772 FAX(0942)46-5841

(裏面に続く)

【重症心身障害児・者とともに生きる 2025(専門職向け研修)】

日時:2025年12月18日(木)19:00～20:30

会場:えーるピア久留米 2階 210・211研修室

講師:久留米大学医学部看護学科 在宅看護学講師 渡邊 理恵氏
(看護師・臨床心理士・医療的ケア児コーディネーター)

テーマ:医療的ケア児及び重心児の「生活の中の医療」を支える看護職の役割

背景:「子どもの生活を中心に医療を位置づけるために」

子どもの生活は、家庭・保育園・学校・放課後の活動など、多様な生活の場面から成り立っており、その全てが成長や発達につながる大切な時間です。しかし、これまでの支援は、医療的ケアの専門性が強調されるあまり、「医療者が主導し、医療が中心にある支援」になりがちでした。医療者の判断や指示が優先され、家族や保育や教育の専門性が十分に生かされない場面も少なくはありません。

これからの支援に求められるのは、“医療を中心に生活を組み立てる”のではなく、“子どもの生活を中心に医療を位置づける”という視点です。

保育士・教員・学校看護師・養護教諭など、子どもの日常を最もよく知る職種と対等な立場で話し合い、お互いの専門性を尊重しながら、生活・教育・医療を統合した支援を構築することが重要です。医療者は、医療の安全を守る専門家であると同時に、子どもの生活の質(QOL)と成長発達を支えるチームの一員でもあります。

医療主導の発想から子どもの生活全体を見つめ直すとはどのような考え方が求められるのか、この研修会で改めて考える機会とします。

タイムスケジュール

(19:00～19:45)

○講義 :医療的ケア児及び重心児の「生活の中の医療」を支える看護職の役割

(19:50～20:10)

○グループワーク:今改めて考えてみよう！！

- ① 病院看護と在宅看護の違いについて
- ② 在宅生活を支えることの難しさとやりがい
- ③ 看護師の地域における役割をどのように考えるか

(20:10～20:25)

○発表 :グループワーク発表

(20:25)

○総評